「志木市長等政治倫理条例」の制定(2004.1.1施行)

1 目的

この条例は、市政が市民の厳粛な信託に基づくものであることにかんがみ、特に重い責務を果たすべき市長、助役、収入役及び教育長(以下「市長等」という。)が、市民全体の奉仕者として、その職務に係る倫理を保持し、自己の地位による影響力を行使して、私的利益を図ることのないよう必要な事項を定めることにより、市政に対する市民の信頼にこたえとともに、清潔かつ公正で、開かれた民主的な市政の発展に寄与することを目的とする。

2 概要

- (1) 市民(調査を請求する日において市の選挙人名簿に登録されている)は、政治倫理基準や契約に自粛に違反した疑いのあるとき、これを証する資料を添えて、市長に調査を請求できる。
- (2) 市長は調査請求があったときは、速やかに志木市市長等政治倫理審査会に調査を求めなければならない。
- (3) 審査会は90日以内に、その審査結果を市長に報告しなければならない。
- (4) 市長は審査結果において、違反している旨の指摘を受けたときは、市民の信頼を回復するために必要と認められる措置を講じなければならない。

3 政治倫理

- (1) 職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 権限又は地位のもたらす影響力を私的な目的のために使用しないこと。
- (3) 職務の執行に当たり、地位を利用して職務の公正が疑われるようないかなる金品も授受しないこと。
- (4) 市が締結する売買、賃借、請負その他の契約及び当該契約に係る下請契約に関し、特定の者に対してのみ有利又は不利な取扱いをする等の不当な取扱いをしないこと。
- (5) 政治活動に関し、政治的又は道義的な批判を受けるおそれのある寄附を企業等から受けないこととし、市長等の後援団体にあっても、同様とすること。

4 志木市長等政治倫理審査会

- (1) 審査会委員 3人
- (2) 任期 4年
- (3) 選任 議会の同意を得て、社会的信望があり、かつ、地方行政に関し識見を有する者のうちから選任する。